小池　未来

高等司法研究科・准教授

[研究]

研究代表者を務める科研費若手研究「現代的な国際取引に対する規律のあり方―CISGの対応可能性について」について、引き続き研究に取り組み、論文1本を公表の上、最終のとりまとめを行った。

研究分担者を務める科研費基盤研究(A)「「国際商事ADRに関するグローバル原則」の探求」において担当するスイス仲裁法についての研究を継続して行い、JCAジャーナル71巻7～10号において論文を公表した。

2024年6月8日・9日にウインクあいちで開催された国際私法学会第137回大会のシンポジウム「移民時代の到来と国際私法の役割」において、「短期滞在者等の常居所に関する一考察」と題する研究報告を行った。

2024年12月7日に韓国・ソウルで開催された日本国際経済法学会と韓国国際取引法学会のジョイント・カンファレンスにおいてディスカッサントとして登壇し、国際倒産に関する報告に対してコメントを行った。

[教育]

法学部科目「国際取引法」及び「特別講義（国際商事模擬仲裁1・2）」並びに高等司法研究科科目「国際取引法」を担当した。

早川吉尚＝森下哲朗編『国際取引法入門』（有斐閣）の第 1 章（羽賀由利子成蹊大学教授及び小川和茂立教大学兼任講師との共著）、第 2 章及び第 4 章を執筆した（2024 年 11 月刊行）。

[管理運営]

学生支援室員、学習サポート委員会委員、ハラスメント相談室全学相談員として、各種の業務に当たった。

[社会貢献]

国際商取引学会理事・模擬仲裁委員会委員として、第 18 回模擬仲裁日本大会の国際化と開催・運営に尽力した。国際私法学会年報編集委員会委員として、学会誌刊行に携わった。

2024 年 12 月 26 日に同志社大学で開催された「ウィーン売買条約（CISG）15 周年にあたって～CISG より一層の理解と普及に向けて～」と題するシンポジウム（一般社団法人国際商事法研究所主催）の総合討論に登壇し、討論を行った。